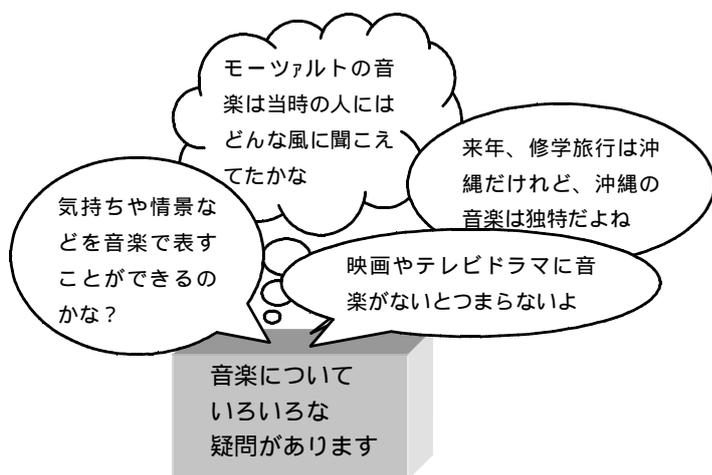


## 芸術科「音楽」シラバス

《 2単位 通年》

私たちのまわりには、さまざまな音楽があふれています。みなさんは、音楽とどのようなつきあい方をしていますか？「音楽は音を楽しむもので、学ぶものではない」ということばを聞くことがあります。楽しく歌い、楽しく聞けばそれでよいというものです。確かに、これは音楽の楽しみ方のひとつです。しかし、音楽が単なる気晴らしや、感覚的な楽しみを超えたより深い世界をもっていたり、長い伝統の上に培われた様々な文化が蓄積されたものであることに気付いたとき、音楽の楽しさは、あなたの心の中でもっと広がり、より大きなものとなるでしょう。音楽の授業は、そのためのお伝いをします。さあ、もっと音楽と向き合みましょう。

<p><b>学習のねらい</b></p>	<p>様々な音楽活動に積極的に取り組もうとする気持ちを高め、音楽を愛する気持ちをさらに育てます。 音楽のよさや美しさを感じ取る感性を高めます。 自分にしかできない音楽の表現ができるような技能を身に付けます。 世界の諸民族の音楽など様々なジャンルの音楽に触れ、その音楽に特有の雰囲気や味わいなどを感じ取る能力を身に付けます。</p>
<p><b>教科書 副教材</b></p>	<p>新 高校生の音楽（音楽之友社） アルトリコーダー（中学校で使ったものを利用してかまいません。）五線紙ノート</p>



### 主な学習内容

表現すること

**歌唱** 小・中学校時代口ずさんだ歌からはじめます。

**器楽** リコーダー、ギター、キーボードに取り組みます。

**創作** 器楽で学んだキーボードを用いてメロディー創作に取り組みます。

鑑賞すること

ヨーロッパを中心に発展した西洋音楽だけでなく、日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽にもふれます。

<p><b>授業で守ってほしいこと</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器や楽譜は音楽を表現したり、鑑賞したりする活動の一部です。大切に扱きましょう。</li> <li>・ 音楽を表現する際には、専門的な知識や技能が必要なことがあります。自分で解決できない疑問点や演奏の方法でわからないことなどは、積極的に質問しましょう。</li> <li>・ 鑑賞や表現をするには、雑音のない静かな空間が大切です。静かな空間があつてこそ、自分の音、友人の音、鑑賞曲などに集中することができます。一つ一つの音と静寂を大切に作る習慣を身に付けましょう。</li> </ul>
<p><b>自己評価のポイント</b> *それぞれの題材や活動のまとめりに評価シートを用いて学習を振り返るためのチェック項目です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまなジャンルの音楽に対して興味・関心が高まりましたか。</li> <li>・ 意欲的に音楽を表現したり、集中して鑑賞に取り組んだりしましたか。</li> <li>・ 楽曲・音楽ジャンルの特徴をとらえられましたか。</li> <li>・ 音楽の歴史やその背景となる民族や文化などを理解し楽曲を聴き取っているか。</li> <li>・ 歌唱や器楽の授業では、積極的に表現したり、友人と協調したりしましたか。</li> <li>・ 演奏上の課題に直面したとき、解決方法を工夫できましたか。</li> <li>・ 創作において、自分なりに工夫できましたか。</li> <li>・ 音楽の技能について身に付けられましたか。</li> </ul> <p>(技能の具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 楽曲から感じ取ったイメージを自分なりに工夫し表現する。〕</li> <li>〔 楽譜に示された記号や標語が示している曲想を感じ取って表現する。〕</li> <li>〔 演奏法、楽器の特徴などを理解し、鑑賞教材を聴き取っている。〕</li> </ul>

学習計画及び評価方法（前期）

学 期 月	題材・主な活動と学習のねらい		指導上の留意点		
	表現すること（歌唱 器楽 創作）	鑑賞すること	課題・提出物		
前 期	<p>ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスをもとに、授業の進め方を確認します。</li> <li>・「校歌」の歌詞やメロディーに慣れます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「表現すること」「鑑賞すること」を並行して進めます。</li> <li>自己評価シート</li> <li>・音楽についての興味・関心、経験</li> <li>自己評価シート</li> <li>・歌に対する興味、関心</li> <li>・発声の基本的な方法についての知識</li> <li>・グループごとの演奏会（相互評価）</li> <li>自己評価シート</li> <li>・ポピュラー音楽に対する興味、関心</li> <li>・ポピュラー音楽の歴史やメディアとの関わりについての知識</li> <li>自己評価シート</li> <li>・器楽に対する興味、関心</li> <li>・基本的な演奏法の工夫や知識</li> <li>・グループごとの演奏会（相互評価）</li> <li>自己評価シート</li> <li>・歌や器楽に対する興味、関心</li> <li>・音楽に合った演奏法の工夫や知識</li> <li>・クラス全体の演奏会（相互評価）</li> <li>自己評価シート</li> <li>・ミュージカルに対する興味、関心</li> <li>・日本の伝統音楽に対する興味、関心</li> <li>・ミュージカルの歴史や物語と音楽との関わりについての知識</li> <li>・日本の伝統音楽の特徴についての知識</li> </ul>		
	4	<p>声で表現しよう【歌唱】</p> <p>[青春を歌う 9曲][季節を歌う 5曲]のから、生徒の希望で1曲ずつ選び歌う。</p> <p><b>学習のねらい1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を出すことに慣れ、歌うことの楽しさを実感します。</li> <li>・発声の基本的な方法を身に付けます。</li> <li>母音唱法、声の支え、レガート唱法等</li> </ul>		<p>ポピュラー音楽を鑑賞しよう。</p> <p>「日本や世界のポピュラー音楽</p> <p><b>学習のねらい2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な日本のポピュラー音楽に関心を持ち、リズムや音階の特徴を理解し、音楽表現の楽しさを味わいます。</li> <li>・19世紀後半からのアメリカ起源のポピュラー音楽の特徴とその歴史、日本のポピュラー音楽への影響を理解します。</li> <li>・マスメディアの発達とポピュラー音楽の発展の関わりを理解します。</li> </ul>	
	5	<p>リコーダーで表現しよう【器楽】</p> <p>「愛のあいさつ」 「アニメ・ソング・メドレー」</p> <p><b>学習のねらい3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な奏法を身に付けます。</li> <li>楽器の扱い方、演奏姿勢、呼吸法、指づかい、タンギングなど</li> <li>・リコーダーが一般的な楽器として使われるようになってきた歴史を理解します。</li> <li>・楽譜について基本的事項を確認します。</li> </ul>		<p>ミュージカルの音楽を鑑賞しよう。</p> <p>「キャッツ」</p> <p><b>学習のねらい4</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開を理解し、音楽表現の美しさなどを味わいます。</li> </ul>	
	6	<p>ミュージカルや映画音楽のメロディーを声や楽器で表現しよう。</p> <p>「シャル・ウィ・ダンス」、「Tonight」、「星に願いを」などからグループごとに選択。</p> <p><b>学習のねらい5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な旋律や気に入った旋律を、物語の場面を想像しながら、歌ったり、リコーダーで演奏します。</li> </ul>		<p>日本の伝統音楽を鑑賞しよう。</p> <p>長唄「勧進帳」、箏曲「みだれ」</p> <p><b>学習のねらい6</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽の特徴や生活との関わりを理解し、音楽表現の美しさやおもしろさを味わいます。</li> <li>・日本の伝統音楽に用いられる楽器の特徴や奏法を理解する。</li> </ul>	
	7	<p>民謡や唱歌などの日本の歌のメロディーを声や楽器で表現しよう。</p> <p>「浜辺の歌」、「夏の思い出」、「南部牛追歌」 「ていんさぐぬ花」</p> <p><b>学習のねらい5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歌のもつ特徴を生かした歌い方や演奏法を工夫し表現します。</li> </ul>			
	8				
	9				
	10				
	<p>【課題・提出物等、テスト】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己評価シートには、アンケート項目のほか、演奏の評価票、知識の確認テスト、鑑賞のレポートの形式があります。から の題材や活動のまとめりに提出します。それらに教師がアドバイスを記入し返却します。</li> <li>2 演奏会の演奏については、自己評価（相互評価を含む）を行うだけでなく、教師の評価票も渡します。</li> <li>3 定期テストでは、教科書の内容や自己評価シートのまとめの内容について、どの程度知識を身に付け、理解しているか評価します。</li> </ol>				
	<p>【評価方法】</p> <p>自己評価シートの確認テスト、鑑賞レポートの記述、演奏会の演奏に対する教師の評価票、定期テスト、さらに授業に対する参加意欲を総合的に評価します。</p>				